

幸福を、平和を、豊かな心を、カンボジアの友と分かち合おう

Angkor Wat

# アンコールワット

発行日:2019年(平成31年)3月1日 《年6回・奇数月発行》 会報 第105号

特定非営利活動法人(NPO法人)

## 21世紀のカンボジアを支援する会

(AAC21) ASSOCIATION OF AID FOR CAMBODIA IN 21 CENTURY

【東京本部】〒176-0011 東京都練馬区豊玉上2-25-7-203  
TEL:03-3991-2854 FAX:03-3557-1213  
E-mail:info@aac21.net

【カンボジア事務所】Phon Preytea, Sangkat Chaom Chao, Khan Por Senchy  
Khan Por Senchy, (Borey Newtown) Phnom Penh  
(855) 78-784-808 (855) 17-599-707

【ホームページ】 [カンボジア支援](#)

【公式ブログ】 [メコンの風に吹かれて](#)

### 「味の素グループ労働組合」が遊具と文具寄贈

1月25日〜29日、「味の素グループ労働組合」(本部⇨東京都中央区京橋)の皆さん(12人)がカンボジアを訪問、本会の仲介で5つの小学校に遊具(ブランコ・すべり台・回転具)と、生徒たち(合計2千3百人)に学用品セツトを寄贈した。

現地企業の「味の素カンボジア株式会社」も、現地生産している食品セツトを生徒たちに寄贈した。  
27日午前中、本会が運営する児童養護施設「夢ホーム」(コンボンズプー県チュバモン郡)を訪問、サッカーや折紙をして子どもたちと交流した。  
午後は、「リヤサマイサマキー小学校」(コンボンズプー県ポーンセツト郡、生徒数⇨549人)と「テイネンチャムパチャー小学校」(コンボンズプー県ポーンセツト郡、生徒数⇨497人)を訪問、学用品を配布後生徒たちと遊んだ。  
28日午前中、「サンハックサトレイクメイ小学校」(コンボンズプー県ウドン郡、生徒数⇨367人)を訪問、学用品を配布後生徒たちと遊んだ。  
一行は28日夜のANA直行便で帰国した。

27日午前中、本会が運営する児童養護施設「夢ホーム」(コンボンズプー県チュバモン郡)を訪問、サッカーや折紙をして子どもたちと交流した。  
午後は、「リヤサマイサマキー小学校」(コンボンズプー県ポーンセツト郡、生徒数⇨549人)と「テイネンチャムパチャー小学校」(コンボンズプー県ポーンセツト郡、生徒数⇨497人)を訪問、学用品を配布後生徒たちと遊んだ。  
28日午前中、「サンハックサトレイクメイ小学校」(コンボンズプー県ウドン郡、生徒数⇨367人)を訪問、学用品を配布後生徒たちと遊んだ。  
一行は28日夜のANA直行便で帰国した。



遊具で遊ぶ子どもたち



味の素グループ労働組合の皆さん

### 佐々木テルさんら3人がカンボジア訪問

1月20日〜23日、佐々木テルさん(宮城県、会員)と娘の土井さん夫妻(京都市、会員)がカンボジアを訪問した。

21日、佐々木テルさんが校舎を寄贈した「ソカーオン小学校」(コンボンズプー県、生徒数⇨85人)を訪問、お菓子セツトを寄贈し生徒たちと交流した。  
22日、夢ホームを訪問、お米を寄贈し子どもたちと交流した。

その後、佐々木さんの友人、森山キエ子さんが、アンアンダエト小学校(コンボンズプー県、生徒数⇨274人)に寄贈した井戸の贈呈式に、森山さんに代わって出席した。  
3人は22日のANA直行便で帰国。短かったが中身の濃い有意義な旅だった。



ソカーオン小学校の生徒たちと

### カンボジア訪問雑感

NPO法人21世紀のカンボジアを支援する会 理事長 根岸恒次

1月14日〜29日、カンボジアを訪問した。14日、いつものANA直行便で成田からプノンペンへ向かった。

驚いたことに、機内はほぼ満席だった。その半数以上が若いカンボジア人男女だった。察するに、技能実習生が集団で本国に帰国したようだ。まだ先と思っていたが、いつの間にかカンボジア人が日本の労働力不足を補って余りある実情を、垣間見た気がした。時代が動き始めた。

カンボジアに着き早速翌日から活動を開始、小学校や教育里子を訪問する日々が続いた。ここでも驚いたことがあった。

特に、両親が別々に再婚し、残された子どもは祖父母と暮らしていたケースが数人おり、身勝手な両親の育児放棄に憤りを覚えた。

昨年7月のカンボジア総選挙以後政権は安定し、経済も順調にみえるも、現政権が野党を壊滅させ独裁国家になりつつあるカンボジアに対し、衣料品などカンボジアからの輸出品に欧米諸国が関税を課す経済制裁が目前に迫った。

そうならば当然減収になり、人々の暮らしにも少なからず影響を与えそう。動向を注視したい。それでも、今年からの縫製工場などの最低賃金

新しく教育支援の対象となる小学生の家庭を訪問したところ、その多くが両親と別れて暮らしていた。  
ここからは笑い話だが、カンボジア人に日本人の年齢を聞くと、大概10歳以上若く見られるものだ。私などは20歳以上若く見られたのだが、たまたま村の長老たちに「私はいくつに見えますか?」と自信もって聞いたところ、「70歳くらいですか?」と衝撃の発言。私は昨年末に古希を迎えたばかりで年を当てられ、改めて老いを感じた一瞬だった。



村の子どもたちと

## カンボジアの子どもたちをサポートしてください

### クメール教育里親会員募集

長かった内戦が終わって平和になったカンボジアですが、国の復興はなかなか進まず、多くの人々は貧困に苦しんでいます。特に農村では、貧しかったり親を亡くしたりして学校へすら行けない子どもや、学校へ行けても途中でやめてしまう子どもが後を断ちません。

本会では、農村の子どもたちが学校へ行けるようにと、教育資金をサポートしてくれる里親さんを募集しております。

例えば73年前、敗戦して焦土となった日本を救ってくれたのは、諸外国からの援助でした。カンボジアも食料援助をしてくださいました。日本の子どもたちもその恩恵を受け学校に行けるようになりました。豊かになった私たちが、今度は困っているアジアの子どもたちを支援する番です。

※お友達グループや職場など、グループ単位でサポートしていただくこともできます。

【教育里親会費】 子ども1人につき 1年間3万円。

- ・内訳  
子どもへ直接支援する額=12,600円(42%)  
年会費(会の運営に回す額)=17,400円(58%)
- ・子どもへの直接支援額を高めるよう努力しております。
- ・一括納入、分割納入(毎月、年3回、年2回)のどちらでも可。
- ・所定の郵便振替用紙を使いお振込みください。

【支援する期間】 ・少なくとも子どもが学校を卒業するまでの間、支援して頂けたら幸いです。やむを得ず子どもが中退する場合もありますが、その際は別な子どもの支援をお願い申し上げます。

【子どもとの交流】 ・子どもからは概ね6ヶ月に1度、近況を報告する手紙(日本語に翻訳)と写真が届きます。  
・里親から手紙、プレゼントを届けることができます。(子どもから写真とお礼の手紙が届きます)  
・年3回実施の「里子訪問の旅」に参加し、里子に会うこともできます。

里親さん、ありがとうございます

### 教育里子が通う 小学校紹介(4)

本会が教育支援する小学校はカンボジア国内に27校、小学校を卒業した里子は、その周辺にある中・高校に通学している。里子が通う(又は卒業した)小学校を順次紹介したい。



授業の様子

- 《タメイ小学校》
- ◎所在地…コンボンスプー県 チュバモン郡ローカートムコミュニティメイ村
- ◎生徒数…973人
- ◎教師の数…24人
- ◎校長…イエム・ヴィ(52歳)
- ◎校舎の数…4棟
- ◎歴史…1979年に創立
- ◎授業形態…午前と午後の二部授業
- ◎里子の数…14人(1月末日現在)
- ◎幼稚園…園児数226人の幼稚園を併設
- ◎周囲の環境…人口が多い地域にある。夢ホームの子どもたちが通学している。

### 児童養護施設 夢ホーム日記

カンボジアのコンボンスプー県にある児童養護施設「夢ホーム」は、両親や片親を亡くしたり、親がいても不遇な家庭環境にある子どもたちの教育と生活の場として、会員の皆様のご厚意により2009年3月に開園しました。

現在11歳～15歳の男女10人が暮らし、近隣の小・中学校に通学しています。

■1月20日、村西宏章さんが夢ホームを訪問、子どもたちとビンゴゲームをして楽しんだ後、近くのレストレンで食事した。村西さんが招待してくれた。

■1月22日、佐々木テルさんと娘の土井さん夫妻が夢ホームを訪問、お米2袋を寄贈し、しばし交流した。

■1月27日、「味の素グループ労働組合」の皆さんが夢ホームを訪問、味の素製品などを寄贈し、しばし交流の時を持った。



米倉様から制服をいただきました

### カンボジアの小学校に2つの井戸が完成

1月16日、島田様夫妻(東京都新宿区、会員)が「トロパントム小学校」(コンボンスプー県、生徒数=512人)に寄贈した井戸の贈呈式を行った。奥様の知美さんが式に出席した。

1月22日、森山キエ子様(宮城県在住)が「アンアンダエト小学校」(コンボンスプー県、生徒数=274人)に寄贈した井戸の贈呈式を行った。森山様の友人、佐々木テルさんが式に出席した。

二つの井戸とも質の良いきれいな水が豊富に出て、生徒たちはとても喜んでいました。



森山キエ子様寄贈の井戸

島田様ご夫妻寄贈の井戸

#### 1月に完成した井戸の内訳

寄贈者名	学校名	生徒数	所在地(県名)
1 島田様ご夫妻	トロパントム小学校	512人	コンボンスプー県
2 森山キエ子様	アンアンダエト小学校	274人	コンボンスプー県

※通算の井戸設置数(2003年～):332基(1月現在)

### 建設工事中の チュレイチューン小学校新校舎



学生団体「パンピット」(京都市左京区、勝谷香子代表)の資金協力で昨年12月に着工した「チュレイチューン小学校」(シエムリアップ県、生徒数1285人)の新校舎建設作業が順調に進んでいる。工事は3月初旬に終了、3月15日に「パンピット」の皆さんが出席し贈呈式を予定している。

### 「チュレイチューン小学校」新校舎建設工事進行中



完成したマレッチ小学校新校舎

### 「マレッチ小学校」新校舎が完成

「世界の恵まれない地域に小学校を作る会」(新潟市秋葉区、石川幸夫代表)の資金協力で昨年9月に着工した「マレッチ小学校」(プレアピヒア県、生徒数1133人)の新校舎(3教室)が完成した。2月15日、石川代表が出席して新校舎の贈呈式が行われた。(詳細は次の会報で報告)

### さて、何を売っているのでしょうか?

この時期、マーケットや道端で売っているのをよく見かけます。一体何を売っているのでしょうか? (答えは4ページ下段の事務局便りにあります)



● **パート・リッターちゃん(女の子)**

● プレチーク小学校1年生(7歳)

● 家族構成: 父親死亡、母親ともに家を出て再婚。残されたリッターちゃんは祖母と2人で暮らしている。姉と兄がいるが、叔母が別の村で育てている。

● 好きなこと: 絵を描くこと。



● **ロム・ソワンちゃん(女の子)**

● プレチーク小学校1年生(7歳)

● 家族構成: 父親死亡、母親は近所のタバコ工場働く。(月給100ドル)兄弟なし。母と2人で暮らしている。

● 好きなこと: 本を読むこと。



● **キムスレイネットちゃん(女の子)**

● プレチーク小学校2年生(9歳)

● 家族構成: 父親死亡、母親はタイで出稼ぎにいったまま戻っていない。(行方不明) 祖母、小学3年の兄の3人で暮らしている。

● 好きなこと: 絵を描くこと。



● **リー・ワンチャイ君(男の子)**

● プレチーク小学校2年生(9歳)

● 家族構成: 父親死亡、母親ともに家を出て再婚。残されたワンチャイ君と1歳の弟、祖父母の4人で暮らしている。

● 好きなこと: サッカーをすること。



今号より、教育支援を希望するカンボジアの子どもたちを紙面で紹介いたします。サポートしてくださる方は、事務局までご連絡ください。なお、既に里子をお持ちの方も歓迎します。マン・ツィー・マンの顔の見える支援です。(TEL 03-3991-2854)

### 教育支援をお願いします!

1月20日、22日、佐々木テルさん(宮城県、会員)と娘の土井さん夫妻(京都市、会員)が、佐々木さんが校舎を寄贈した「ソカーオン小学校」(コンボンスプー県)を訪問、お菓子セットを寄贈しました。夢ホームや、井戸贈呈式にも出席してくれました。

1月15日、23日、上山陽子さん(奈良県、法人監事・里親会員)が、「ソムプー小学校幼稚園」(コンボンスプー県)で、音楽指導と遊戯指導をしてくださいました。

1月15日、18日、島田知美さん(東京都、会員)が、ご自身が寄贈した井戸の贈呈式に出席しました。小学校や里子訪問にも同行してくれました。

1月14日、17日、石川桂さん(愛知県、理事・相談役)が、ご自身が寄贈した小学校を訪問、文集作成の活動を行いました。

1月14日、21日、村西宏章さん(千葉県、里親会員)が、ご自身が教育支援する里子のお家を訪ねました。夢ホームや小学校も訪問し、写真を沢山撮ってくれました。

12月31日、三木浄万さん(兵庫県、里親会員)が、ご自身が教育支援する里子のお家を訪ねました。

### 関連活動アラカルト

クメール教育里親基金活動レポート

本会では、病气や事故、親の離婚などにより両親や片親をなくしたり、親がいても貧しい家庭環境にあるカンボジアの子どもたちが安心して学ぶことができるよう、2003年に「クメール教育里親基金」を創設、現在約390人の子どもたちを教育支援している。



教育支援する里子を訪問した村西さん

このほか、新しく教育支援を始めてくれた里親さんへより詳細な里子情報をお届けするため、訪問リサーチ活動を精力的に行った。

里子への教育支援金を隔月に届けています

本会のカンボジア事務所では現地スタッフが、教育里子に通う小学校(現在27校)を隔月に訪問、里親から頂いた年会費(1人当たり3万円)の中から、42%に当たる12,600円を年6回に分け、米ドルに換金して里子に渡している。

中・高校に通う里子も出身校の小学校に集まり、教育支援金を受け取っている。1月下旬から2月上旬にかけて、12月と1月分を渡した。



教育支援金を届けました

里子へのプレゼントは 随時受け付けています

- 里子へのプレゼントは、原則として奇数月のカンボジア訪問時に里子へお届けします。
●偶数月の月末までに送金又は手土産を事務局まで送っていただきますと、翌月の訪問時にお届けすることができます。
●諸事情で翌月里子にお届けできない場合がありますが、その際は次の奇数月のお届けになります。予めご承知ください。
●手紙のみもお届けしますが、少しでもプレゼントがあると里子が喜ぶと思います。

現地購入(プレゼント代を振込票にてご送金ください)

- ・自転車(中古品).....7,500円
・お米(50キロ入り).....4,500円
・Tシャツ2枚&サンダルセット.....2,000円
・本(絵本2冊・中学生以上は英語辞書1冊).....1,000円
・お菓子セット(お菓子の詰め合わせ).....1,000円
・文房具セット(ノート、筆記用具等).....1,000円

※上記の代金は、現地での物品調達や里子へ届けるための車代等の諸経費として、原価に20%を上乗せしております。
※里親様が現地へ行き、里子にプレゼントを直接届ける場合は、原価での購入になります。

◆日本から持参(事務局宛てにお送りください)
・空港からの持ち出しに重量制限がありますので、レターパックやA4サイズの封筒に入るくらいまでのサイズでお預かりします。

投稿 花いかだ

今 紀子 (東京都渋谷区・会員)

「花いかだ」何て美しい言葉でしょう。桜の花びらが川面に散って、いかだのように水面をすべっていく。

「花いかだです」不意にガイドの声がした。「え、こんな里山にも花いかだがあるの?」見てびっくり。

小さな葉っぱの上に緑の豆粒が二つ三つ。家族のように肩を寄せ合っている。風が吹くたびに、いかだのようにゆったりと漂う。あ、豆粒がポロリとこぼれないだろうか。思わず手を差し伸べてしまう。まるでカンボジアの子供たちのような。

プノンペンのホテルを出発して、里子の村を目指す。以前に比べると舗装された道路事情が良くなってきたけれど、村に近づくと、デコボコ道を砂ぼこりをあげながら進むことになる。いつも感心する。そして、感謝する。

車を運転してくれるLさんの丁寧な仕事ぶり。地図にない道を実に里子の家の前に停めてくれる。道に水たまりがあったりすると、私たちが歩きやすいように板を渡してくれたりする。私たちに對する心づかいは、そのまま子供たちに対する愛情でもある。

私たち日本人は、時々訪問するだけだけれど、現地のスタッフは嵐でも波が荒れ狂っても、腕のいい船頭のように子供たちを守ってくれる。

そういう陰の力があってこそ、私たちは「ボランティアやっているんだ」と胸を張ることができる。

微力な私だけれど、力いっぱい抱きしめることはできる。また、子供たちに逢いにいこう。

投稿 Present

杉田 博 (さいたま市・里親会員)

会の皆さまより一日早く、私はプノンペンのプサー(市場)を歩いていた。生地を買い、ソムポツ(カンボジアのスカート)に仕立て、里子にプレゼントしたいのだ。

2時間半ほど歩き回り、ようやく気に入ったものを見つけた。ソムポツの柄もシンプルでいい。早速仕立て屋に持ち込み、後日取りに行く。自信はないが、中々良い仕上がりがた。果たして彼女は喜んでくれるだろうか。

いよいよ里子訪問の日。一年ぶりに再会した少女は背丈も伸び、お姉さんへと成長しつつあった。出来上がったソムポツを渡すと、パツと表情が輝く。早速着てみるとピッタリだ。ソムポツのオレンジが、カンボジアの空と周囲の緑に映えて、とても美しい。

支援を始めて以来、あまり表情を顔に出さなかった子が今、目の前で微笑んでいる。私も彼女から、素敵なプレゼントを受け取ったのだ。

楽しい時間はあっという間に過ぎ、別れの時がやってきた。私は約束した。「来年もきっとあなたに会いに来るよ」と。

今回は一緒に皆様のお陰でもとても楽しい旅ができた。そして里親の皆様。可能ならば里子に会って伝えて欲しい。「あなたは、私という味方が居ますよ!」と。



ノート代わりに ミニ黒板が活躍
カンボジアの小学校では、ノート代わりに小さな黒板を使って授業を受ける。何度でも消せるためとても便利。もちろんノートも併用している。



ミニ黒板

開店したばかりの床屋さん
たまたま里子の家を訪問した隣りが、二日前に開店したばかりの床屋さんだった。料金は散髪、髭剃りなど行い、5000リエル(130円位)とのこと。日本では最低でも1000円かかるので、かなりの安さといえる。早速本会の現地スタッフが世話になった。



床屋さん

カンボジアの肉屋さん
カンボジアの田舎は冷蔵庫が普及していないため、人々は毎日市場で買物をする。特に肉はすぐに腐敗するため時間と勝負。30度を超える外に出したまま売るのが、カンボジアの肉屋さんの特徴。



肉屋さん

小学校の休憩時間はおもしろい
カンボジア小学校の休憩時間はおもしろい。売店が沢山あるので生徒たちは小銭を持参、買い食いに余念ない。先生が売店を開いている小学校もある。見ていると生徒同士の微笑ましい光景を随所に見かける。日本ではじめを苦に自殺する生徒がいるが、カンボジアではあり得ない。校長先生が言っていた。



休み時間

バスアップの時代に
カンボジアの都市部で急激に発達した乗り物「バスアップ」。昔日本にも「ダイハツミゼット」という、バイクと同じハンドルのミニ車が一世を風靡したが、それに似た乗り物。スマホで簡単に呼べるとあり市民に大受けだ。今問題になっている高齢者運転に最適か?



バスアップ

さとうきびは美味しい
小学生がかじっているのは、地方で作っているさとうきび。1本5000リエル(15円位)。学校の売店で売っているの、休憩時間にかじっている生徒をよく見かける。歯の訓練に良いかも?



さとうきび

### クメール教育里親会員になりませんか

カンボジア王国認定団体：活動歴 19年  
カンボジアの子どもたちを助けてください



里子の家を訪問して家族と交流します



里子と里親さんとの再会・言葉はいらない

学校にいけない	読み書き計算ができない	技術も学歴もない
子どもが働く	収入の安定した仕事に就けない	収入が少ない仕事
働けない・病死	教育貧困連鎖	収入が少ない仕事
病気になりやすい	十分な栄養が摂れない	食料が買えない

教育と貧困の連鎖が起きている



4・5年生になると働きに出てしまう

1年間3万円で子どもが学校に行くことができます  
どなたか1人里親を紹介ください。下記に連絡を！

東京本部 〒176-0011 東京都練馬区豊玉上 2-25-7-203 ☎03-3991-2854

### 会員懇親会(忘年会)を開催



レストラン中南海の前で

12月8日、年末恒例の会員懇親会(忘年会)を横浜中華街の「中南海レストラン」で開催、17人の会員さんが参加した。11月に行われた「夢ホーム・里子訪問の旅」の参加者が半数を占め、同窓会の様相だった。名残りは尽きず、寒い中、山下公園近くの屋外喫茶店で二次会を行った。

### アンコールワット国際ハーフマラソンに参加しました



12月2日。シエムリアップで開催された「第23回アンコールワット国際ハーフマラソン」に参加しました。

2年前の同大会に続き2回目の参加ですが、今回は新潟からの友達3人と我が夫婦、支援する会からは奈良県の上山さんと静岡県の遠藤さんも応援に駆けつけてくださり、賑やかな大会となりました。

この大会は毎年12月第1日曜日に開催されるチャリティーマラソン大会です。日本の有森裕子さんが発起人、日本とカンボジアの平和を願う有志で始まった大会であり、収益金はカンボジア赤十字や子ども病院へ寄贈されます。

大会前日は朝早くから出発しアンコールワットの朝日を拝み、昼間はマラソンコースの下見も兼ねてガイドさんと一緒に見学をしました。

そして夜は「ライトアップされたアンコールトム」にて大会の前夜祭、飲み放題食べ放題で開催されました。普段ライトアップをされることはないアンコールトム、良かった～最高の演出でした。有森裕子さんと集合写真も撮ることができました。

大会当日も暗いうちからの出発です。アンコールワット正面の広場には沢山の参加者でもみくちやになりながらもハーフ、10キロ、3キロと順番にカウントをしてスタートします。遠藤啓カメラマンも思わずみんなと一緒に渦に入りました。

とっても楽しい時間を過ごすことができました。一緒に参加してくれた友達も大満足してくれました。滞在中、シエムリアップで「ゲストハウスかぐや姫」を運営している鈴木さんとご家族の皆さんには最初から最後まで、大変お世話になりました。

次の大会参加もきっと近いと思います。興味のある人に広め「チームさんば」として楽しい行事にしていきたいと思います。

里親会員 三林けい子(新潟市在住)

### 活動に参加しませんか

#### 正会員として

教育里親会員(年額3万円)

子どもたちへ直接払う年額 1万2千6百円(42%)

会の運営に回す年額 1万7千4百円(58%)

個人会員(年額5千円)

団体会員(年額1万円)

#### 寄付金

当会の活動に賛同いただける方からの寄付金も受付しております。

会費・寄付金の送付は、銀行振込、郵便振替、現金書留で。

【口座名】 21世紀のカンボジアを支援する会

【ゆうちょ銀行】 019支店 当座 0160916

【りそな銀行】 練馬支店 普通 4098235

●ゆうちょ銀行の自動引き落としをご希望の方は事務局へご連絡ください。

●会員の皆様には、隔月発行する本会の会報「アンコールワット」を発行の都度郵送します。

### 春さんのカンボジアレポート ～カンボジアのトゥクトゥク～

カンボジアの乗り物と言えばトゥクトゥクです。客車仕様した荷台をバイクで引く乗り物で、解放感抜群です。

それが2年ほど前から、オート三輪車(リキシャ型トゥクトゥク)に変わりつつあります。これは配車アプリで運用されています。スマホで目的地を指定して、呼び出せば迎えに来てくれます。



プノンペンで大流行のリキシャ型トゥクトゥク

画面に地図と距離と料金も表示されますので、厄介な値段交渉不要でクメール語ができなくても大丈夫です。初乗り3,000～3,900リエル(80円～105円)、以降1km毎に1,200リエルです。

このアプリは、従来のトゥクトゥクやセダン型タクシーやバイクタクシーを選択出来るものもあり、日本語対応もあります。

このオート三輪はインド製で、インドではオートリキシャと呼ばれています。客席は狭くて大人2人ほどしか乗れませんが、小回りが効きます。燃料はLPGなので燃費はガソリン車の半分のため、旧来型トゥクトゥクから移るドライバーが増えています。

庶民の足として商業の街プノンペンでは全面入替の様相ですが、観光の街シエムリアップでは、4人ほど乗れて遺跡観光に眺めのいい旧来型がまだまだ主流です。

里親会員 鈴木春男(カンボジア・シエムリアップ在住)

### 第17回定期総会開催のご案内

本会では、下記の要領で第17回定期総会を開催いたします。会員(教育里親会員・団体会員・個人会員)の皆様には別途通知いたしますので、ご出席のほどよろしくお願いいたします。

- ◎日時 2019年3月30日(土) 14時～16時
- ◎会場 練馬区立「練馬文化センター」(3F和室)
- ◎審議事項
  - ・2018年度事業報告並びに決算報告
  - ・2019年度事業計画並びに予算計画
  - ・その他雑件

### カンボジア・フェスティバル2019

カンボジアについて日本の方々に広く知ってもらおうと、在日カンボジアコミュニティ、カンボジア大使館、在日カンボジア留学生協会などが共催します。本会も、カンボジア支援NGO団体として出展しますので、是非お出かけになってください。入場無料です。

【開催日時】2019年5月3日(金)、4日(土) 10時～19時

【開催場所】東京・代々木公園(イベント広場)  
【イベント】物品販売、活動紹介、カンボジア料理などの模擬店、伝統舞踊など  
※ボランティアとしてお手伝いして下さる方、歓迎します。事務局までご連絡ください。

### 事務局便り

■第41回「カンボジア夢ホーム・里子訪問の旅」(3月7日～13日)の参加者募集をしたところ、18人の会員さんから申し込みがありました。(2月15日現在)回を増すごとに参加者が増えていて、サポートする本会としても責任重大です。旅の安全をお祈りください。

■前号で「お年玉募金」をお願いしたところ、2月15日までに162,200円の浄財が寄せられました。ありがとうございます。

■2面、クイズの回答の連続の裏でした。花が終わると実を結び、1本20円位で買えます。

### 3月～4月の予定

- 会報「アンコールワット」3月1日付第105号発行
- 第41回「カンボジア夢ホーム・里子訪問の旅」(3月7日～13日)
- 第17回定期総会(3月30日、練馬区立練馬文化センター和室)